

第8回常任理事会会議録

日 時 平成20年12月12日（金）午後2時～同3時30分
場 所 日本歯科医師会 801・802会議室
出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 黒崎紀正、井出吉信
<総務理事> 住友雅人
<常任理事> 高津茂樹、高木忠雄、佐藤田鶴子、平井敏博、
江里口 彰、恵比須繁之、宮崎 隆、栗原英見、
荒木孝二
第21回日本歯科医学会総会
<会 頭> 大塚鉦兵衛
<準備委員長> 伊藤公一
<事務局長> 松村英雄
欠席者 <常任理事> 川添堯彬、土屋友幸、後藤滋巳

[議長 江藤会長]

1. 開 会

黒崎副会長から、開会の宣言がなされた。

2. 挨拶

江藤会長から、挨拶がなされた。

引き続き、大塚会頭から、第21回日本歯科医学会総会の準備運営に係る協力に対し、御礼の挨拶が述べられた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

住友総務理事より、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

一般会務報告（平成20年11月10日～同12月11日）

第7回常任理事会会議録（平成20年11月10日開催）

2) 第21回日本歯科医学会総会報告

伊藤準備委員長から、次の資料に基づき、報告がなされた。

総会関係報告（平成20年11月10日～同12月11日）

第21回日本歯科医学会総会準備委員会（主催者）発表 参加人数

3) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき、会計現況報告がなされた。

□学会会計収支決算書（平成20年4月1日～同10月30日）

□第21回日本歯科医学会学術大会会計収支決算書

（平成20年4月1日～同10月30日）

4) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

特になし。

(2) 歯科医療技術革新の推進

▶「革新的歯冠修復材料開発研究打合会」（仮称）の設置について

江藤会長より、「新医療機器・医療技術産業ビジョン」（平成20年9月・厚生労働省）内に記載された“革新的歯冠修復材料”の開発・研究推進に向けて、本学会、日本歯科医師会、歯科関係業界の三者構成による打合会を設置し、検討していく旨報告がなされた。

また、同打合会には、本学会の専門分科会である日本歯科理工学会から、中畠裕教授が出席する旨補足説明。

(3) 学会機構改革の推進

特になし。

(4) 専門医制度の確立

特になし。

(5) 国際交流の推進

江藤会長より、第21回日本歯科医学会総会会場において11月15日（土）、モンゴル歯科医学会と交流協定を締結した旨報告がなされた。

5) 平成20年度日本歯科医学会プロジェクト研究費について

佐藤常任理事より、標記プロジェクト研究費について、本学会四役と学術研究委員会正副委員長らによる学術研究事業打合せの場で、採択課題と支給研究費の選考等を行った旨、資料に基づき報告がなされた。

なお、本年度採択課題は次の通り。

□新生体材料・新加工法の歯科臨床導入に関するプロジェクト研究

・CAD/CAMシステムを用いたセラミックス修復のガイドライン

研究代表者：宮崎 隆/昭和大学歯学部教授

- ・ファイバーポスト併用レジン支台築造のガイドラインの確立
研究代表者：福島俊士/鶴見大学歯学部教授

□新しい検査法の歯科臨床導入に関するプロジェクト研究

- ・歯科における金属アレルギーの検査システムの構築
研究代表者：大島 浩/大阪歯科大学講師
- ・歯周病原細菌を指標とした選択的除菌の効果
研究代表者：金子明寛/東海大学医学部教授
- ・歯周病臨床データベースに基づき歯周病原細菌感染度を指標とした予防・治療の効果判定検査の確立
研究代表者：高柴正悟/岡山大学教授

□顎顔面補綴治療の展開に関するプロジェクト研究

- ・わが国における顎顔面補綴治療の現状分析と診療ガイドラインの作成
研究代表者：後藤昌昭/佐賀大学医学部教授

- 6) 平成 21 年度厚生労働科学研究補助金研究課題等の公募について
住友総務理事より、大臣官房厚生科学課より標記研究課題が公募されている旨資料に基づき報告。
また、本件については、各分科会に情報を提供している旨補足説明がなされた。
- 7) 財団法人日中医学協会 2009 年度共同研究等助成金・募集について
住友総務理事より、標記について資料に基づき報告がなされた。
また、本件については、各分科会に情報を提供している旨補足説明がなされた。
- 8) 日中笹川医学奨学金制度第 32 期研究者募集開始について
住友総務理事より、標記について資料に基づき報告がなされた。
また、本件については、各分科会に情報を提供している旨補足説明がなされた。
- 9) 会長報告
江藤会長より、①日歯の第 17 回常務理事会における報告事項及び協議事項、②JADR 関係事項等について、資料に基づき報告がなされた。

4. 協 議

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

特になし。

(2) 歯科医療技術革新の推進

▶「共同利用・共同研究」拠点について

江藤会長より、文部科学省研究振興局学術機関課が実施する「国立大学法人の次期中期目標期間（平成 22 年度～）に向けた共同利用・共同研究拠点」への認定に向けて、東京医科歯科大学生体材料工学研究所が申請を予定している旨資料に基づき説明。

申請に際し、本学会として文部科学大臣宛の推薦書を交付することについて諮られ、協議の結果、交付することとした。

(3) 学会機構改革の推進

特になし。

(4) 専門医制度の確立

特になし。

(5) 国際交流の推進

特になし。

2) 事業計画の推進

(1) 認定分科会への登録に関する件

住友総務理事より、「日本歯科医学会認定分科会登録申請に関する公示」（8月1日から同31日）に基づき、合計8学会より登録申請があり、現在、諮問先である専門分科会資格審査委員会において資格審査が進められている旨説明。

同委員会からの答申受理後の予定について協議した結果、次回常任理事会及び理事会において引き続き協議した上で、登録可とする学会については、第81回評議員会に議案として上程することとした。

・江里口常任理事より、本学会と専門分科会及び認定分科会との関係を戦略的に構築し、対外へ明確に打ち出す必要がある旨意見がなされた。

・栗原常任理事より、加入分科会の増加に伴う必要経費の増加について、本学会としての対応を検討していく必要がある旨意見がなされた。

江藤会長より、国民や行政機関からの様々な要望に対し、学術的根拠に裏付けされた対応が求められる中で、多様な専門領域学会を分科会に取り込み、歯科医学の裾野を拡げていくことが不可欠。また、分科会側にとっても、日本歯科医学会という組織を介し学会活動を広報していくことが可能になる利点もあると説明。住友総務理事より、日歯会員も日本歯科医学会会員であるため両組織の強化に繋がると説明。

(2) 日本歯科医学会規則の一部改正

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られた。

協議の結果、次回常任理事会及び理事会において引き続き協議した上で、第81回評議員会に議案として上程することとした。

(3) 日本歯科医学会評議員選出基準の一部改正

住友総務理事より、日歯が地区制を変更したことに伴い、標記について第81回評議員会に上程することについて諮られた。

協議の結果、日歯では機構改革の一環として事業運営・組織機構の効率化並びに財務合理化を目的に、10地区制から7地区制へ変更したものの、本学会と日歯との緊密な連携体制を引き続き維持していくことが重要であることから、この件について日歯と再度意見交換することとした。

なお、今後の取り扱いについては、江藤会長一任とした。

(4) 平成21年度事業計画について

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、次回常任理事会及び理事会で引き続き協議した上で、第81回評議員会に議案として上程することとした。

(5) 平成21年度学会会計収支予算について

高木常任理事より、標記について資料に基づき説明があり、協議の結果、次回常任理事会及び理事会で引き続き協議した上で、第81回評議員会に議案として上程することとした。

なお、今後生じる細部の金額調整については、江藤会長一任とした。

(6) 日本歯科医学会役員（学会会長）選挙

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、次回常任理事会及び理事会で引き続き協議した上で、第81回評議員会に議案として上程することとした。

(7) 学会第 81 回評議員会の開催について

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、議事・第 3 号議案の取り扱いを会長一任した上で、承認された。

(8) 学会顕彰審議会答申の取り扱いについて

住友総務理事より、標記について、顕彰審議会からの答申書に基づき諮られた結果、原案通り承認された。

なお、本年度会長賞授賞者は以下の通り。第 81 回評議員会内で授賞式を執り行うこととした。

<研究部門>

野首 孝祠（大阪大学名誉教授/日本補綴歯科学会推薦）

奥田 克爾（東京歯科大学名誉教授/日本歯周病学会推薦）

大東 道治（大阪歯科大学教授/日本小児歯科学会推薦）

<教育部門>

東理十三雄（日本歯科大学名誉教授/日本歯科麻酔学会推薦）

細井 紀雄（鶴見大学名誉教授/日本補綴歯科学会推薦）

<地域歯科医療部門>

登利 俊彦（兵庫県歯科医師会会員/兵庫県歯科医師会推薦）

(9) 後援名義貸与について

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、名義貸与することを承認した。

江里口常任理事より、同一主催者の下、年間を通して複数回行われるイベントに対し、年度単位で一括名義貸与することについて諮られ、協議の結果、承認した。

(10) 役員派遣について

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り承認した。

3) その他

次回、第 9 回常任理事会を平成 21 年 1 月 16 日（金）午前 11 時より開催することを確認した。

5. 閉 会

井出副会長から、閉会の辞が述べられた。